



安方中だより

令和5年10月20日 第5号

大田区立安方中学校

「Never too late」

校長 佐藤 彰

今年、男子バスケットボールに始まり、ラグビーや男女バレーボールのワールドカップ、杭州アジア大会が行われ、テレビで熱く応援したという人も多いのではないのでしょうか。男子バスケットボールと男子バレーボールの日本代表チームがパリオリンピック出場を決め、大きな感動をもらえたと同時に、来年のオリンピックがとても楽しみになりました。

私は、自分がバスケットボールの競技と指導を長年にわたり経験してきたこともあり、男子バスケットボールには特に注目していました。今回、実に48年ぶりに自力でのオリンピック出場を決めたわけですが、ひと昔前の代表チームと比べてそのレベルの向上には感慨深いものがあります。そのころの男子日本代表チームは、アメリカの中堅レベルの大学との親善試合にすらなかなか勝てませんでした。アメリカなどの強豪国にならって、身長の高い選手を集めて大型化を図りましたが、身体能力は比べようがなく、全く歯が立ちませんでした。現在は、八村塁選手や渡邊雄太選手がNBAで活躍しているのをはじめ、選手のレベルが格段に向上し、世界で戦えるチームとなっています。

ところで、皆さんは日本人初のNBAプレイヤーをご存じでしょうか。それは、田臥勇太選手といって1980年生まれの43歳ですが、現在も宇都宮ブレックスというチームで活躍しています。ワールドカップで解説を務めていたので、聞いたことがある人もいるかもしれませんが、最近多く見られる、やたらと熱くなって解説なのか応援なのか分からない解説者とは異なり、冷静に分析した鋭い指摘が分かりやすく好評でした。

田臥選手は、身長が173cmと小柄ですが、抜群のスピードと相手とのタイミングをずらす絶妙なテクニックで、国内では敵なしの選手でした。現在の日本代表キャプテンの富樫勇樹選手（167cm）や河村勇輝選手（172cm）らが尊敬し、後ろを追いかけるような存在です。

こう書くと華やかなキャリアだけに見えますが、田臥選手は強豪の能代工業高校（当時）を卒業したあとアメリカの大学に入学しますが、3年で中退しています。そして、日本の強豪チームに所属し活躍していましたが、そのチームを退団しアメリカに渡り、NBAに挑戦します。

田臥選手は、アメリカのチームと契約しプレシーズンマッチには出場するものの、開幕前には解雇されることを繰り返し、様々なチームを転々としていきます。そして、ついに2004年にフェニックス・サンズと契約し、日本人初のNBAプレイヤーとなりましたが、出場はわずか4試合、プレー時間は17分、7得点、4アシストという結果でした。

その後、NBAの下部組織でプレーしたり、NBAチームと契約するものの開幕前に解雇されることが続き、NBAへの復帰を果たすことはできず日本に復帰し今に至ります。

田臥選手が座右の銘として大事にしている言葉が、表題の「Never too late」です。直訳すると、「遅すぎることはない」という意味です。挑戦すること自体に大きな意味があるのであり、それが早い遅いかはたいしたことではないという意味です。



【田臥勇太選手】

田臥選手はNBAに挑戦する過程で、まわりから何度もけなされ「お前には無理だ」と言われ続けますが、投げ出すことをせずに夢をつかみました。田臥選手の手記に次のようなものがあります。

「何回も能代弁で叱られ 何回も英語で怒鳴られ そのうち何回かは理解できなかったけど 何回も小さいから無理だと言われ 何回も大男が落ちてきてケガをし 何日も眠れない夜を過ごし 何回も人の言うことに耳を塞ぎ 何回も逃げ出そうと思ったけれど 何万回もパスを出し 何万キロもドリブルをして 何万回も相手をフェイクし 何万回も速攻を出し 何万本もシュートを打って 何十足もバッシュを履きつづし 僕はついにアメリカのコートに立った・・・」

田臥選手は、「Never too late」という言葉を胸に、43歳になった今でも日本最高峰のBリーグの強豪チームで挑戦を続けています。

人生において、遅すぎるということはありません。始めることや継続することが尊いことであり、そのこと自体に大きな意味があります。

季節は10月。今からでも、何も遅すぎることはありません。

「第76回大田区中学校陸上競技選手権大会」

9月14日（木）に第76回大田区立中学校陸上競技選手権大会が開催されました。安方中学校からは24人の選手が参加しました。その様子は、本校学校ホームページで詳しく紹介しました。また、当日は競技の結果を校内放送で全校に伝え、とても盛り上がったと聞いています。現在も、おもな結果を中央玄関に掲示して讚えています。

本校の選手の皆さんは、上位を独占というような結果ではありませんでしたが、あきらめず食らいつき、本当によく頑張っていました。

【区陸の成績】

○女子共通砲丸投	第1位	遠藤 綾乃
○男子2年200mH	第2位	長澤 大地
○女子1年100m	第3位	大原 柚月
○女子1、2年砲丸投	第3位	福永 彩桜
○女子1、2年100mH	第4位	今村 七都
○男子3年110mH	第5位	鈴木 羽琉
○男子共通砲丸投	第6位	藤 竜雅
○女子2年800m	第6位	伊藤 瑞季
○女子共通800m	第6位	内山 優依
○1年女子4×100リレー	第6位	(神浦璃依珠ミシャーラ 大原 柚月 吉野 果暖 増田 小夏)

「表彰」おめでとう！

【野球部】 ○令和5年度大田区中学校野球夏季研修大会
第3位



【吹奏楽部】 ○第63回東京都吹奏楽コンクール
金賞

